



# 「FPスタッフ」の魅力

Financial Planner's center

株式会社 きんざい

ファイナンシャル・プランナーズ・センター

# C O N T E N T S

タブレット使用  
の簡易フォーム  
を追加



1. FPスタッフとは

2. 主な試算機能一覧

3. 広がる提案の可能性

4. 「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

5. 最適なバージョンアップ

6. 複数購入で価格を割引!!

～シミュレーションの多様性～

～リスク性商品にも対応～

～Excelベースの強み～

～制度改正等にいち早く対応～

～高い費用対効果を実現～

# 1. FPスタッフとは

1999年の発売以来、販売実績を重ね進化し続けてきました。  
FPの多様な顧客提案に対応したシミュレーションソフトです。

- ☑多数の金融機関(銀行、信用金庫、証券会社、保険会社)、  
商工会議所、商工会、不動産会社、保険代理店、独立系FP事務所、会計事務所など  
幅広い導入実績
- ☑顧客に+αのサービス提供が可能
- ☑マイクロソフト社Excelがベース。容易に導入でき、Excel以外の設備投資は不要
- ☑毎年7月に最新の制度に対応した新年度版をリリース。年度途中の制度改正にも  
メンテナンス版の配布により対応
- ☑約70の項目について試算が可能。法人、個人の両方に対応

# 2. 主な試算機能一覧

## ～シミュレーションの多様性～



### 〔相続関係フォーム〕

相続資金計画提案シート/相続税試算・簡易相続税試算(代襲相続あり・なし)/相続税上昇試算/  
相続税延納税額試算/贈与税試算/自社株評価試算/相続人関係図/教育資金の一括贈与 ほか

### 〔不動産関係フォーム〕

賃貸不動産事業収支試算/マンション投資試算/不動産評価/居住用資産の買換え特例 ほか

### 〔法人関係フォーム〕

役員退職金試算/法人成り試算/キャッシュフロー計算書/損益分岐点分析 ほか

### 〔所得税関係フォーム〕

所得税(一般用・分離課税)の試算/退職所得税額試算/公的年金等の雑所得の試算/配当控除の試算/  
減価償却費の試算 ほか

### 〔ローン関係フォーム〕

借入金返済計画(元金均等・元利均等)/複合型借換試算/借換試算簡易版/返済条件による借入額試  
算/住宅ローン減税額試算/金利別ローン返済額比較表(元利均等・元金均等) ほか

### 〔資産運用・401(k)関係フォーム〕

リスク許容度診断シート/アセットアロケーション試算/各種積立・運用試算/外貨預金実質利回り試算/  
確定拠出年金(企業型)積立効果試算/確定拠出年金(個人型)積立効果試算・所得控除試算 ほか

### 〔年金・ライフプラン関係フォーム〕

老齢年金の試算/在職老齢年金の試算/障害年金の試算/遺族年金の計算/  
ライフプラン(リタイア編・住宅ローン編)/教育費用試算/個人バランスシート ほか

# 3. 広がる提案の可能性

～リスク性商品にも対応～

将来利回りを **予想値** **上方リスク** **下方リスク** の3つでシミュレーション。

印刷

←戻る

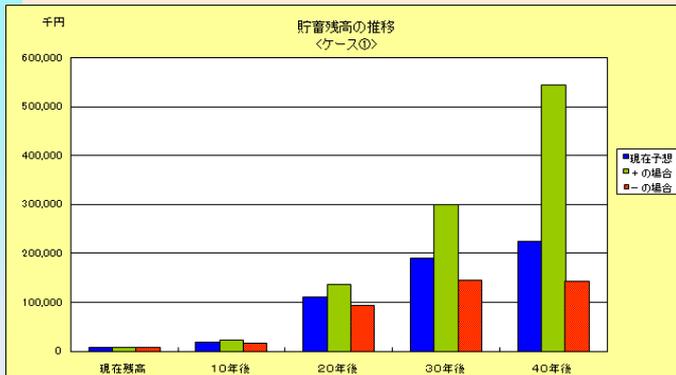
●貯蓄残高の推移  
(利回りが変動した場合の試算)

<ケース①>

現在の予想利回り (%)	変動範囲 (%)	(+)の場合 (%)	(-)の場合 (%)
現金	± 0.000	0.030	0.030
預貯金	± 0.200	0.230	0.000
債券	± 2.000	3.000	-1.000
株式	± 9.000	11.000	-7.000
その他	± 2.000	2.050	-1.950

予想はわかり易く

視覚化



(単位: 千円)

	10年後	20年後	30年後	40年後
0	0	0	0	0
00	7,344	42,604	70,784	78,232
00	5,123	29,764	51,646	61,003
00	5,372	31,284	56,832	71,922
00	1,220	7,099	11,805	13,063
00	19,059	110,751	191,067	224,220
0	0	0	0	0
00	7,412	43,014	72,101	80,782
00	5,639	32,934	62,698	85,045
00	8,465	52,932	151,630	360,567
00	1,341	7,832	14,260	18,106
00	22,857	136,712	300,689	544,500
0	0	0	0	0
00	7,333	42,544	70,590	77,858
00	4,613	26,746	42,026	42,581
00	3,345	19,552	23,034	14,428
00	1,088	6,329	9,461	8,850
00	16,379	95,171	145,111	143,717

# 4.「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

～Excelベースの強み～

## Microsoft Excelをベースに開発



- ☑ Excelシートなので、補足情報があれば、資料を簡単に修正可能
- ☑ 使いなれたExcelなので、操作は簡単。特別なガイダンスは不要
- ☑ Excelが使用できる環境であれば使用でき、特別な設備投資は不要

# 4.「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

～Excelベースの強み～

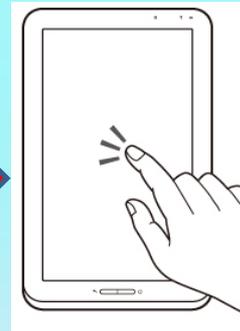


◆相続税試算と借り換え試算の簡易フォームを新たに追加！  
タブレットでも使いやすくなった！

## FPスタッフ2022 R1.0

- 相続関係フォーム
  - ローン関係フォーム
  - 不動産関係フォーム
  - 資産運用・401(k)関係フォーム
  - 法人関係フォーム
  - 年金・ライフプラン関係フォーム
  - 所得税関係フォーム
  - 提案書関係フォーム
  - タブレット用フォーム**
- 改正対応一覧    FPスタッフ終了    Excel終了

株式会社 きんざい    CCSサポート株式会社  
Copyright (C) 2022 KINZAI Corporation, CCS Support Corporation



### 簡易相続税試算

簡易相続税試算(配偶者と子供のみ)    きんざい太郎 様

配偶者の有無	あり	あり	なし
実子の人数	2	+	-
養子の人数	1	+	-

課税価格の合計額    5 億    5 千万円

相続税額(法定相続割合の場合)	
配偶者	0 万円
子供の合計	6,900 万円 (一人あたり約 2299 万円)
合計	6,900 万円

相続税額(配偶者が70%相続する場合)	
配偶者	2,760 万円
子供の合計	4,140 万円 (一人あたり約 1379 万円)
合計	6,900 万円

### 借り換え試算

借り換え1    借り換え2

借り換え金額 (うちボーナス分)	46,352,000 円	45,100,000 円
	4,500,000 円	4,500,000 円

〔1年目〕

	現状	借り換え1	借り換え2
毎月返済額	644,320 円	370,285 円	242,988 円
差額	---	-274,035 円	-401,332 円
ボーナス時増額	430,344 円	239,443 円	161,905 円
差額	---	-190,901 円	-268,439 円
年間返済額	8,592,528 円	4,922,306 円	3,239,666 円
差額	---	-3,670,222 円	-5,352,862 円

〔利率変更後〕

	現状	借り換え1	借り換え2
毎月返済額	644,320 円	371,759 円	244,429 円
差額	---	-272,561 円	-399,891 円
ボーナス時増額	430,344 円	240,441 円	162,894 円
差額	---	-189,903 円	-267,450 円
年間返済額	8,592,528 円	4,941,984 円	3,258,939 円
差額	---	-3,650,544 円	-5,333,589 円

〔差額計算〕

	現状	借り換え1	借り換え2
利息総額	202 万円	303 万円	373 万円
差額	---	101 万円	170 万円
支払元利総額	4,702 万円	4,938 万円	4,883 万円
差額	---	236 万円	180 万円
諸費用	---	---	---
諸費用を含めた差額	---	---	---

# 4.「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

～Excelベースの強み～



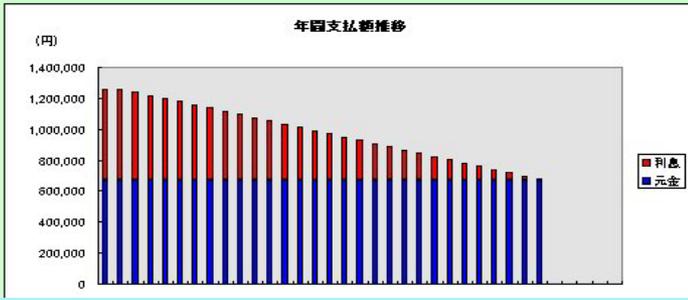
## ● 年間支払額（元金均等）

### ⑤ 借入条件

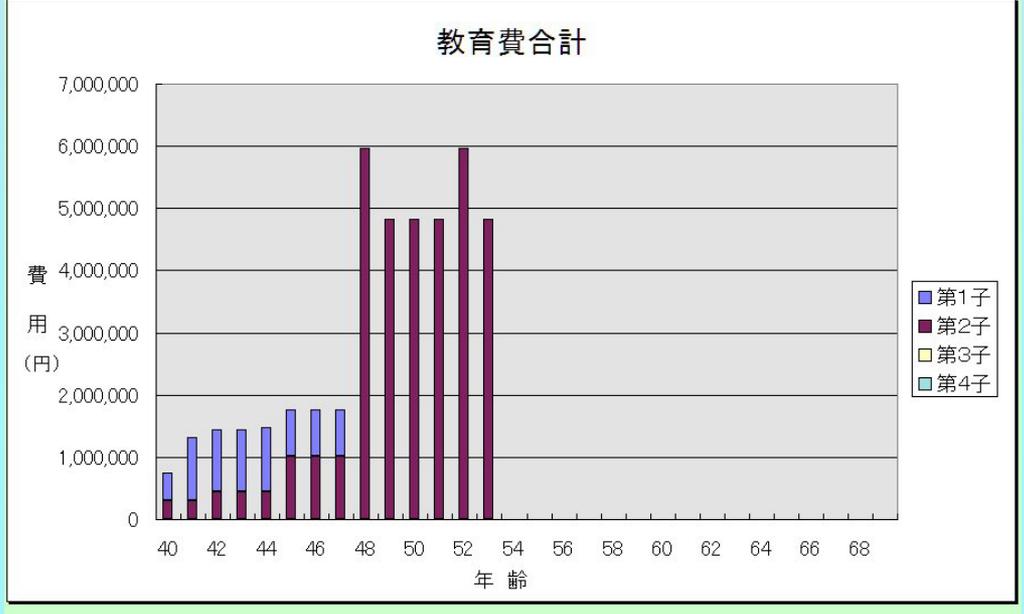
借入日	#####	借入金額	##### 円
返済開始日	2005/9/1	返済回数	360 回
		年利（%）	3.12% %
		決算月	7 月

### ⑥ 年間支払額・利息等の推移

	支払額	利息	元金	返済		支払額	利息	元金	返済
1	1,259,133	591,523	666,660	19,333,340	19	907,901	241,141	666,660	7,333,490
2	1,251,321	594,661	656,660	19,666,690	20	898,326	219,666	678,660	6,666,800
3	1,242,045	578,333	663,660	19,000,020	21	888,493	198,333	686,660	6,000,140
4	1,219,637	552,997	666,660	17,333,360	22	844,660	178,000	666,660	5,333,480
5	1,198,822	532,162	666,660	16,666,700	23	824,241	157,331	666,660	4,666,820
6	1,177,990	511,330	666,660	16,000,040	24	802,994	136,334	666,660	4,000,160
7	1,158,483	491,823	666,660	15,333,380	25	782,159	115,499	666,660	3,333,500
8	1,136,323	469,663	666,660	14,666,720	26	761,327	94,667	666,660	2,666,840
9	1,115,490	448,330	666,660	14,000,060	27	740,680	74,020	666,660	2,000,180
10	1,094,658	427,998	666,660	13,333,400	28	719,661	53,001	666,660	1,333,520
11	1,074,923	408,263	666,660	12,666,740	29	698,828	32,168	666,660	666,860
12	1,052,990	388,330	666,660	12,000,080	30	678,196	11,336	666,660	
13	1,032,158	368,498	666,660	11,333,420					
14	1,011,325	344,665	666,660	10,666,760					
15	991,361	324,701	666,660	10,000,100					
16	959,660	303,000	666,660	9,333,440					
17	943,326	282,166	666,660	8,666,780					
18	927,991	261,331	666,660	8,000,120					



試算表に戻る 画面表示調整



◆簡単に、元金返済テーブルや決算時の年間支払い元利、支払利息をテーブル表示。

◆ご主人の年齢に合わせ、子供の進学計画による、毎年の教育費用、費用総額を一目でわかる表示。「進学必要資金」の提案に活用するなど一歩ふみこんだ提案が可能。

# 4. 「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

～Excelベースの強み～



※ ライフプラン・リタイア編 ※

～定年前から老後にかけてのライフプランを試算します～

このシートについて

想定される将来の年収

50歳～55歳	歳まで(以下)	現在年収	7,000千円	1.00%	%で推移
55歳～60歳	歳まで	予想年収	8,500千円	1.00%	%で推移
60歳～65歳	歳まで	予想年収	6,000千円	1.00%	%で推移
65歳～70歳	歳まで	予想年収	3,000千円	0.50%	%で推移
70歳～75歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
75歳～80歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
80歳～85歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
85歳～	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移

公的年金について

公的年金の種類

国民年金  
厚生年金  
※厚生年金加入(入時)の月収(税込み額)  
130千円

退職予定の年齢 64歳  
退職金予定額 20,000千円  
企業年金 期間:開始 65歳～終了 80歳まで  
年間受取額 1,000千円  
一時収入 発生時 70歳時 金額 2,000千円

想定される将来の年収

50歳～55歳	歳まで(以下)	現在年収	2,800千円	0.50%	%で推移
55歳～60歳	歳まで	予想年収	1,500千円	0.50%	%で推移
60歳～65歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
65歳～70歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
70歳～75歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
75歳～80歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
80歳～85歳	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移
85歳～	歳まで	予想年収	千円	%	%で推移

公的年金について

公的年金の種類

国民年金  
厚生年金  
※厚生年金加入(入時)の月収(税込み額)  
135千円

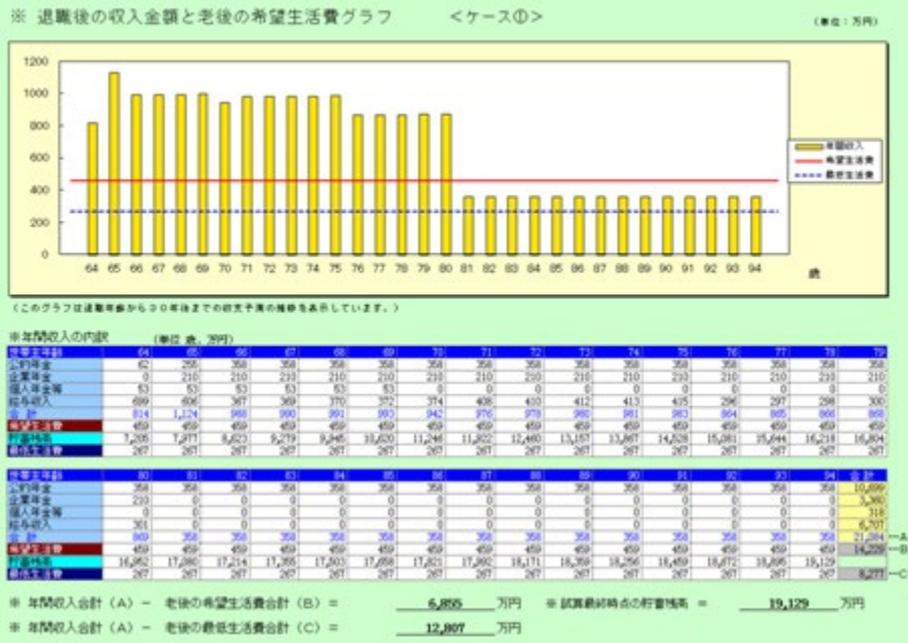
退職予定の年齢 64歳  
退職金予定額 7,000千円  
企業年金 期間:開始 65歳～終了 80歳まで  
年間受取額 800千円  
一時収入 発生時 70歳時 金額 1,000千円

- ◆ライフプラン(リタイア編)のシートでは、必要事項を入力するだけで、試算表を作成。年間収支をグラフで表示したり、不足額を計算したり、異なるケースを比較したりすることができる。
- ◆2種類のプランを作成し、簡単に比較が可能。

### 種 ※ ライフプラン・リタイア編 比較試算表 ※

＜ケース①とケース②の試算結果を比較します＞ (単位:千円)

年度(平成)	年齢	A ケース①による試算				B ケース②による試算				差異(A-B)	
		収入合計	支出合計	収支差額	貯蓄残高	収入合計	支出合計	収支差額	貯蓄残高	収入差額	貯蓄差額
25	50	50	7,500	9,100	-1,600	3,430	7,500	3,720	1,311	3,680	-480
26	51	51	7,450	9,150	-1,701	3,735	7,450	4,727	2,723	11,710	-1,922
27	52	52	7,400	9,200	-1,800	11,205	7,400	4,734	2,708	14,602	-2,397
28	53	53	7,350	9,250	-1,900	12,112	7,350	3,741	1,302	18,500	-4,383
29	54	54	7,300	9,300	-2,000	14,155	7,300	4,748	2,341	19,600	-5,247
30	55	55	7,250	9,350	-2,100	16,328	7,250	4,755	2,348	22,665	-6,236
31	56	56	7,200	9,400	-2,200	18,430	7,200	4,762	2,360	23,668	-6,531
32	57	57	7,150	9,450	-2,300	18,976	7,150	4,769	2,366	25,611	-7,126
33	58	58	7,100	9,500	-2,400	21,042	7,100	4,776	2,370	28,600	-7,430
34	59	59	7,050	9,550	-2,500	24,084	7,050	4,783	2,331	31,535	-7,841
35	60	60	7,000	9,600	-2,600	27,113	7,000	3,740	1,131	32,657	-8,242
36	61	61	7,000	9,600	-2,600	32,110	7,000	2,727	4,779	37,891	-8,521
37	62	62	7,000	9,600	-2,600	37,088	7,000	2,734	4,731	42,818	-8,520
38	63	63	7,000	9,600	-2,600	42,045	7,000	2,741	4,685	47,591	-8,520
39	64	64	7,000	9,600	-2,600	46,982	7,000	2,748	4,639	52,220	-8,520
40	65	65	7,000	9,600	-2,600	51,899	7,000	2,755	4,593	56,713	-8,520
41	66	66	7,000	9,600	-2,600	56,796	7,000	2,762	4,547	61,170	-8,520
42	67	67	7,000	9,600	-2,600	61,673	7,000	2,769	4,501	65,591	-8,520
43	68	68	7,000	9,600	-2,600	66,530	7,000	2,776	4,455	69,966	-8,520
44	69	69	7,000	9,600	-2,600	71,367	7,000	2,783	4,409	74,297	-8,520
45	70	70	7,000	9,600	-2,600	76,184	7,000	2,790	4,363	78,574	-8,520
46	71	71	7,000	9,600	-2,600	80,991	7,000	2,797	4,317	82,807	-8,520
47	72	72	7,000	9,600	-2,600	85,788	7,000	2,804	4,271	86,990	-8,520
48	73	73	7,000	9,600	-2,600	90,575	7,000	2,811	4,225	91,123	-8,520
49	74	74	7,000	9,600	-2,600	95,352	7,000	2,818	4,179	95,206	-8,520
50	75	75	7,000	9,600	-2,600	100,119	7,000	2,825	4,133	99,239	-8,520
51	76	76	7,000	9,600	-2,600	104,876	7,000	2,832	4,087	103,272	-8,520



# 4.「わかり易さ」と「使い易さ」の追求

～Excelベースの強み～



※ 在職老齢年金の試算シート ※

高年齢雇用継続給付との調整 給与額の変動による年金額の違い

●データ入力 このシートについて

生年月日(昭和) 27年 4月 3日  
 男性=1, 女性=2 ー

●試算結果 (60歳～65歳到達時まで)

■60代前半の老齢厚生年金 (部分年金)  
 ◎支給期間 60歳から65歳到達時まで

本来の年金額 1,328,872円  
 減額される額 1,328,872円  
 繰引 受給できる金額 (160円未満四捨五入) 0円  
 月額給算 0円

■特別支給の老齢厚生年金  
 ◎支給期間 (受給対象あり)

本来の年金額  
 減額される額  
 繰引 受給できる金額(A) (160円未満四捨五入)  
 加給年金(配偶者)  
 = (配偶者特別加算)  
 = (子)  
 加給年金 計(B)  
 合計 (A) + (B)  
 月額給算 (1円未満四捨五入)

※配偶者がらぬに到達すると配偶者の加給年金は打ち切られます。  
 ※子が1日齢に到達した年度の末日(3/31)を過ぎるとその子の加給年金は打ち切られます。

※この試算は平成24年度の年金制に基づいて構築しています。  
 (ご注意) 本表はあくまで試算です。実際の計算などにつきましては専門家にご相談ください。  
 ※お世帯からいただいた資料の正確性についてご自身の責任をもち、お世帯の責任を負い、お世帯にあらがしめ同意を賜っていない旨の旨の判断は一切いたしません。

印刷 入力データの消去 名前を付けて保存 メニューに戻る 計算の詳細

※ 遺族年金の試算シート ※

●データ入力 このシートについて

夫の生年月日 54.7.10

夫の厚生年金加入期間  
 H15年3月までの 122ヶ月  
 H15年4月以降の 112ヶ月

平均標準報酬(月)額  
 H15年3月以前 230,000円  
 H15年4月以降 240,000円

妻の生年月日 54.7.18

妻の国民年金加入期間 410ヶ月

子の生年月日  
 第1子 57.2.3  
 第2子  
 第3子  
 第4子

※試算日時時点で夫が死亡した場合を想定して試算します。

●試算結果 (妻の年齢が65歳まで表示)

妻の年齢	遺族基礎年金	遺族厚生年金	中高齢寡婦加算	経過的寡婦加算	老齢基礎年金	年金合計(年額)	月額給算
41	1,012,800	443,600				1,456,400	121,367
42	443,600	509,800				1,033,500	86,125
43	443,600	509,800				1,033,500	86,125
44	443,600	509,800				1,033,500	86,125
45	443,600	509,800				1,033,500	86,125
46	443,600	509,800				1,033,500	86,125
47	443,600	509,800				1,033,500	86,125
48	443,600	509,800				1,033,500	86,125
49	443,600	509,800				1,033,500	86,125
50	443,600	509,800				1,033,500	86,125
52	443,600	509,800				1,033,500	86,125
54	443,600	509,800				1,033,500	86,125
56	443,600	509,800				1,033,500	86,125
58	443,600	509,800				1,033,500	86,125
60	443,600	509,800				1,033,500	86,125
62	443,600	509,800				1,033,500	86,125
64	443,600	509,800			788,500	1,033,500	86,125
65	443,600	509,800			1,239,100	102,508	

※この試算は厚生年金保険の被保険者である夫が死亡した場合(短期間)の遺族年金について試算しています。  
 ※遺族基礎年金は基本額798,600円に子の加算額を合計して試算しています。  
 ・子の加算額一2人目までは1人につき228,360円、3人目以降1人につき79,480円  
 ・子=1歳未満、最初の3月31日までの間にいる子を含みます。・子のいない遺族には遺族基礎年金は支給されません。  
 ※子のいない配偶者の妻の専ら、遺族厚生年金の死亡給付から基礎額が支給されます。  
 子のいる妻であっても夫が死亡した時点で遺族基礎年金の受給権が失われた場合は、それ以外の遺族厚生年金の5年間の支給となります。  
 ※中高齢寡婦加算は夫の死亡時に子のいない妻が40歳に達している場合、または子のいない妻が1歳到達年度の末日に達した時点で、49歳未満の期間が経過します。(遺族基礎年金を受給している間は中高齢寡婦加算の支給は停止されます。)  
 ※経過的寡婦加算は妻(昭和14年4月1日以前生まれの人の対象)が60歳以降支給されます。

※この試算は平成24年度の年金制に基づいて構築しています。  
 (ご注意) 本表はあくまで試算です。実際の計算などにつきましては専門家にご相談ください。  
 ※お世帯からいただいた資料の正確性についてご自身の責任をもち、お世帯の責任を負い、お世帯にあらがしめ同意を賜っていない旨の旨の判断は一切いたしません。

- ◆老齢・遺族・在職・障害など年金試算のシートが充実!
- ◆繰り上げ・繰り下げ受給による受給額や、在職老齢年金の給与額の変動による年金額の違いなどが一目でわかる表など、FPの提案に活用する資料が簡単に作成できます。

●給与額の変動による年金額の違い

	(-) ←	現在の給与額						→ (+)
現在の給与額を基準に10,000円引き で±30,000円増減した場合の試算		278,600	280,000	280,000	309,800	310,000	320,000	330,000
■60代前半の老齢厚生年金 【支給期間:60歳から65歳到達時まで】								
本来の年金額		1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872
減額される額		1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872	1,328,872
繰引 受給できる金額								
月額給算								
給与+年金 月額合計		278,600	280,000	280,000	309,800	310,000	320,000	330,000
■特別支給の老齢厚生年金 【支給期間: (受給対象あり)】								
本来の年金額								
減額される額								
繰引 受給できる金額(A)								
加給年金(配偶者) = (配偶者特別加算) = (子)								
加給年金 計(B)								
合計 (A) + (B)								
月額給算								
給与+年金 月額合計		278,600	280,000	280,000	309,800	310,000	320,000	330,000

※配偶者がらぬに到達すると配偶者の加給年金は打ち切られます。  
 ※子が1日齢に到達した年度の末日(3/31)を過ぎるとその子の加給年金は打ち切られます。

※この試算は平成24年度の年金制に基づいて構築しています。  
 (ご注意) 本表はあくまで試算です。実際の計算などにつきましては専門家にご相談ください。  
 ※お世帯からいただいた資料の正確性についてご自身の責任をもち、お世帯の責任を負い、お世帯にあらがしめ同意を賜っていない旨の旨の判断は一切いたしません。

# 5. 最適なバージョンアップ ～制度改正等にも対応～

◎税制改正等、制度改正にも細やかに対応し、最適なバージョンアップ環境を実現。

◎さまざまな項目で、より見やすく、より使いやすく！

☑事業承継における提案のスピードを高め  
提案力の向上につなげます。

☑事業承継の提案においてポイントとなる自社株式  
評価の複雑な試算も簡単に！

印刷 入力データ消去 名前を付けて保存 ←メニューに戻る 純資産価額へ

※ 自社株評価試算 ※ 様

◆ 会社規模の判定 ◆

◎業種の指定  
卸売業 = 1, 小売・サービス業 = 2 (番号を入力)  
(上記以外の業種は入力不要)

◎判定要素  
直前期末以前1年間の  
継続勤務従業員数 (A) 15 人  
(A)以外の従業員の直前期末以前  
1年間における労働時間数 (B) 2,923 時間  
直前期末以前1年間の従業員数  
(A) + (B) ÷ 1,800 18.65 人  
直前期末の総資産価額(帳簿価額) 183,700 千円  
直前期末以前1年間の取引金額 188,180 千円

※法人税基本通達9-1-14の特例を適用して評価する場合は  
下のチェックを入れて下さい。  
(判定要素にかかわらず小会社として評価します)  
 法基通9-1-14を適用する

◎評価会社の判定  
評価会社の判定 中会社  
(Lの割合) 0.8

◎参考：会社規模の区分（従業員数100人未満の場合）

直前期末の総資産価額(帳簿価額)及び 従業員数に応ずる区分			直前期末以前1年間の 取引金額に応ずる区分			会社規模と Lの割合 (中会社)
卸売業	小売・サービス業	卸売業・小売 サービス業以外	卸売業	小売・サービス業	卸売業・小売 サービス業以外	の区分
20億円以上 (50人以下除く)	10億円以上 (50人以下除く)	10億円以上	30億円以上	20億円以上	20億円以上	大会社
14億円以上 (50人以下除く)	7億円以上	7億円以上	7億円以上	12億円以上	14億円以上	0.80 中
(50人以上除く)	(50人以下除く)	30億円未満	30億円未満	20億円未満	20億円未満	
7億円以上 (30人以下除く)	4億円以上 (30人以下除く)	4億円以上	25億円以上	8億円以上	7億円以上	0.25 社
(30人以上除く)	(30人以下除く)	(30人以下除く)	50億円未満	12億円未満	14億円未満	

金財 太郎 様

## 株 価 試 算 書

貴社の株価を「財産評価基本通達」に基づいて試算いたしました。なお、この  
計算はあくまで一定条件に基づく概算です。詳細につきましては、専門家に  
ご相談ください。

貴社の1株当たりの株式価額は概算で 9,745 円です。お客様の持ち株数は  
7,000 株ですので、所有株式総額は概算で 68,215 千円となります。

会社の規模	中会社(Lの割合 0.9)
評価方法	原則的評価方式
基準要素数0の会社	非該当
株式等・土地特定会社等	非該当
基準要素数1の会社	非該当

【自由入力欄】

## 6. 複数購入で価格を割引 ～高い費用対効果を実現～

1～9セット目まで @57,200円

10～19セット目まで @46,200円

20セット以上 @35,200円

(注1) 1台の端末につき1セットとなります。

◆法人での導入に対応した自由使用権許諾契約<sup>(注2)</sup>も可能

上記価格体系にて算出した合計金額 × 1.5<sup>(注3)</sup>

◆必要に応じて当該年度限り最大2回の無償メンテナンス<sup>(注4)</sup>

◆2年目以降は**優待価格**<sup>(注5)</sup>は、通常(割引)価格の**4割**相当額

(注2) 自由使用許諾契約は全店舗および拠点での導入が前提となります。

(注3) ご利用環境により異なる場合があります。

(注4) 場合によってはメンテナンスが発生しない年もあります。

(注5) 最終購入年度版の次々年度まで有効です。